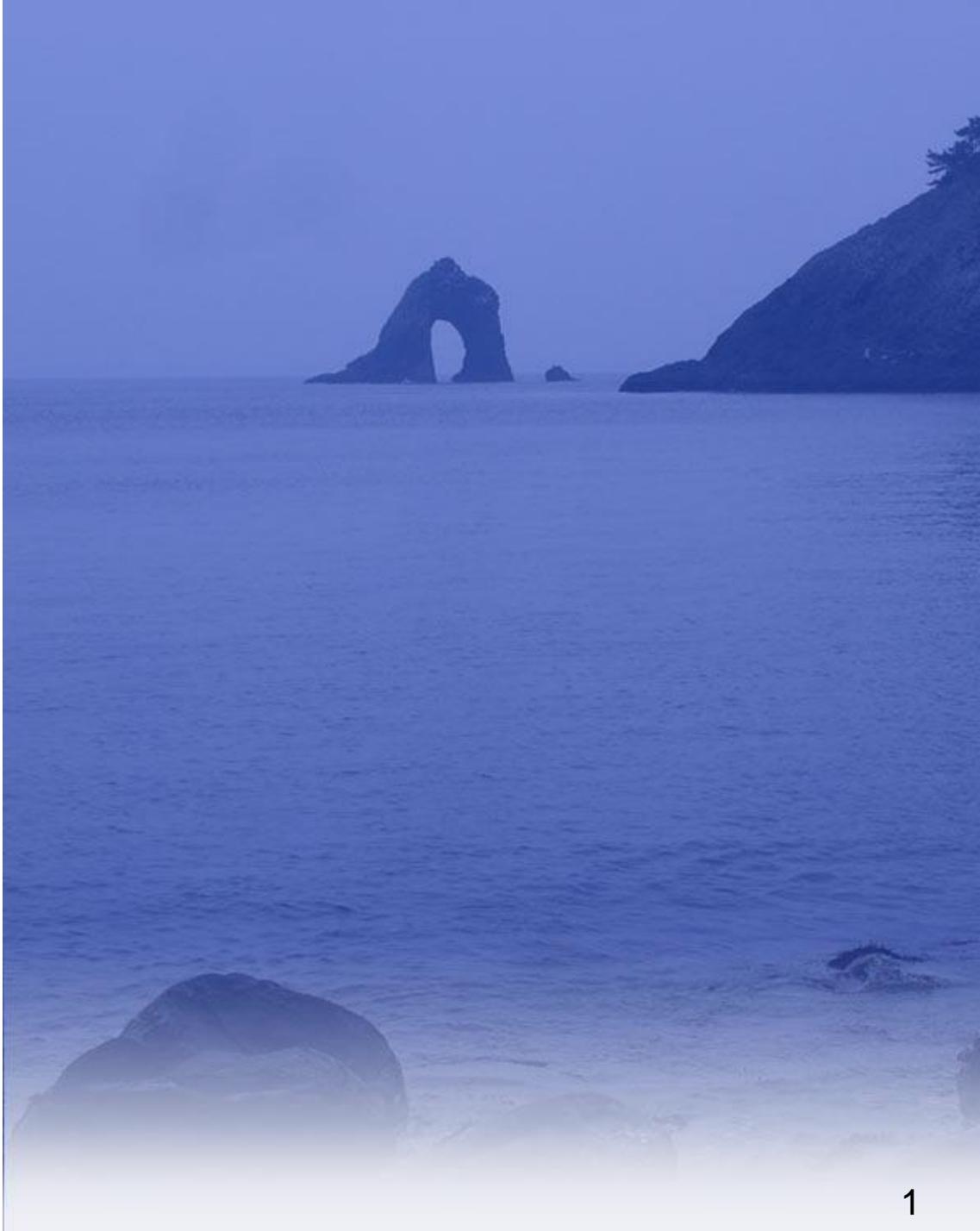


福岡県新宮町

相島診療所

福岡県27期

吉永 亮



相島

福岡県糟屋郡新宮町

面積 1.22km²

周囲 6.1km

人口 366人 (平成21年4月)

15歳未満 31人 (8.5%)

65歳以上 212人 (57.9%)

産業: 漁業・真珠の養殖



「続古今和歌集」や「万葉集」などにも登場するなど古来より海の要所として重要な場所であった。また江戸時代、鎖国政策をとるなかで唯一国交を結んでいた朝鮮からの「朝鮮通信使」を相島で接待し、文化交流の舞台となった。旅客機で福岡空港に北から着陸する場合、ちょうど高度を下げて旋回する場所になっており、窓からよく見える (左窓側座席に座るとよい)。

相島の位置



玄界灘
福岡県新宮町の7.5km沖



相島へのアクセス

JR博多駅



JR福工大前駅

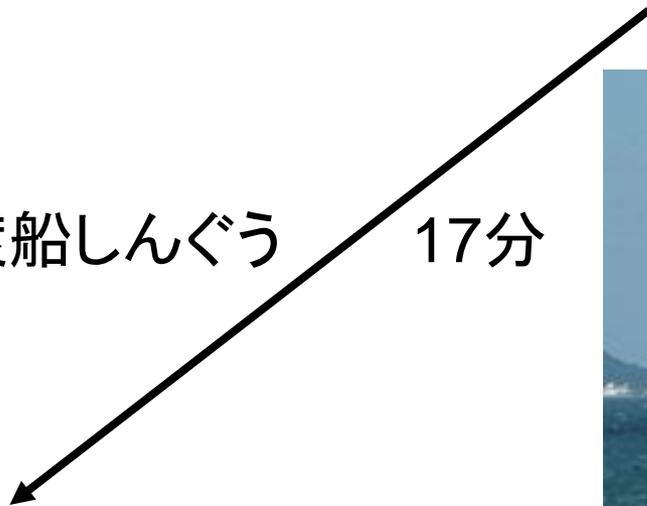
JR鹿児島本線 上り 19分



町営バス
相らんど線 5分

相島渡船場

町営渡船しんぐう 17分



相島



相島の名所

鼻栗瀬(めがね岩)

島の東300メートルの海上にそそり立ち、全体が玄武岩でできている。高さ20メートル、周囲100メートルで海食洞があり、めがね岩と呼ばれている。平成18年2月21日に県指定文化財(名勝)に指定された。

九州自動車道の新宮町境界標識に町のシンボルとして描かれている



相島の名所

相島積石塚群

相島の北東、長井浜にある。古墳時代に石だけで造られた墳丘を「積石塚」と呼ぶ。「積石塚」は日本国内の古墳の1%しかない全国的にも珍しい古墳である。新宮町に大規模な積石塚群があると確認されたのは、平成4年のことで、調査の結果254基の積石塚が確認され、平成13年8月7日に国指定史跡となった。





島の東側から長井浜・めがね岩を眺めるこの景色が島随一の絶景！

相島の名所

ミキモト真珠養殖場

平成12年に相島で天然のアコヤ貝がみつきり、福岡県とミキモトによる共同研究・開発が始まった。「相島アコヤ貝」は(1)日本在来種で病気におかされていない(2)貝が大型化するなどの特徴があり、高品質で大型の真珠の養殖が可能とのこと。平成19年より生産開始され、平成20年度は1万個のアコヤ貝から真珠が取り出され、大粒で質の高い真珠の浜揚げ(真珠の収穫)が行われた。



相島産真珠



真珠を収穫する小学生

相島診療所

島内唯一の医療機関

医師1名・看護師1名・事務1名

1987年から自治医大卒業生が
継続的に派遣され、現在14代目

診療時間

平日9時～17時(火曜午後往診)

土9時～12時

日祝日休診

1日平均患者数;15-20名



毎週水曜日は常勤医研修日のため代診医による診療

奇数週 自治医大16期吉田拓也先生(整形外科)

偶数週 自治医大17期酒井賢一郎先生(内科)

(ともに相島診療所勤務歴あり)



受付・待合室



会計・薬局



診察室 医師診察机



診察室 診察ベッド

日常業務；

内科を中心とするプライマリケア、訪問診療、無床診療所
主に高齢者で慢性疾患が多いが小児・外傷患者も受診する

学校医業務；

相島小学校・新宮中学校相島分校の学校医

乳幼児業務；

予防接種、相島へき地保育所の園医

介護業務；

偕同園相島デイサービス・さくら苑小規模多機能型施設の相談医

その他；

九州厚生年金病院(北九州市)の研修医の地域医療研修受け入れ
毎月1人(1週間)

医療機器；

心電図・超音波（腹部・表在）

単純レントゲン撮影機・顕微鏡

除細動機・AED・バックボード・頸椎カラー

* 血液検査はすべて外注（10時50分発の渡船で提出）

* 平成13年より電子カルテ導入

訪問診療；毎週火曜日午後に実施

在宅酸素中のCOPD患者・悪性腫瘍・認知症などのため通院困難な患者さん宅へ往診している

急患発生時も往診を依頼されることが多い

集落は島の南側に集中しているため
ほとんどの自宅が徒歩で行ける

島の北側は断崖絶壁で民家はない



救急搬送；

搬送手段

- ① 漁協組合密漁監視船 or 町営渡船+救急車 合計約30分
- ② 池友会和白病院による民間医療搬送用ヘリコプター
「ホワイトバード」による搬送
(2008年6月より運航開始)
- ③ 福岡県ドクターヘリ
(久留米大学付属病院より)



救急搬送数

2006年度	17症例	すべて①による搬送
2007年度	18症例	〃
2008年度	26症例	①16症例 ②によるヘリ搬送10症例

民間医療搬送用ヘリコプター「ホワイドボード」

* 現在は日本で唯一の民間医療用ヘリコプター

(以前は沖縄県浦添総合病院も運用していたが
2008年12月より公的なドクターヘリとなった)

相島では和白病院に定期通院している人も多く、
運行開始からよく利用

2008年度は脳出血・脳梗塞・骨盤骨折・肺炎などで計10回利用

* ドクターヘリと異なる点は、

比較的軽症患者の搬送や県をまたいだ運行も可能、
あらかじめ届け出た離発着場にしか降りられない など

* 実際に利用して

搬送時間の短縮・安静維持の他、
発熱・悪寒のある患者の冬の海の波風の寒さ
外傷患者の船や救急車に移乗する際の疼痛増悪 など
搬送患者の負担を軽減することができると実感



ホワイトバード;相島小学校グラウンド



救急搬送に使う密漁監視船



デモフライトで島民に紹介



ホワイトバードからみた長井浜 15

相島の医療・介護の特徴・問題点

- 島の人口減少・高齢化率増加が年々進行している
- 離島とはいえ、本土までのアクセスがよいため普段から島外の医療機関を受診する人もいる
- 救急搬送の際は、タンカで運ぶ人・船を運転する人などがすぐに集まり、迅速に搬送できる。
⇒島民の団結力が強い
- 高齢夫婦世帯や高齢独居世帯が増え、また家族が島内にいないために在宅医療が困難な場合が多い
- 介護施設・スタッフが需要に対して不足している。
- 施設入所が必要な場合は島外へいかなければならない

相島での生活

定期船は1日6往復

(冬季は5往復)

始発 相島発 7時00分

最終 新宮港発 18時10分

定期船で自動車は運べず

島内には島民の自動車のみ

(信号機はなし)

島内に

旅館・購買店・食堂(昼のみ)

郵便局・酒屋・個人商店あり

他,生協を利用して食料品を購入

(役場・交番はなし)

インターネット;yahoo! BBを利用

医師宿舎は診療所2階(2LDK)



週末には釣り客で賑わう



診療所裏の医師宿舎にあがる階段 17